

令和 6 年度学校運営協議会委員による評価・意見（HP 掲載用）

評価項目	学校運営協議会委員による評価・意見
地域とともにある学校づくりの推進	・生徒と地域との連携については、生徒のMT活動やイベントへのボランティア等の参加で、以前よりも深まってきていると感じる。さらに地域との連携を深めるために、生徒達の活動を中学生と連携してできることを模索してはどうだろうか。中学校の生徒会行事とのコラボ等。 ・マスコミを利用した告知で、取り組み自体を広く知ってもらうことが大切であると感じます。MTでの交流や寒高カフェも含めて発信するなどしていただきたいですし、高校生の取り組み記事を目にするとうれしい気持ちにもなるので定期的なプレスリリースを行ってもらうことは高校への注目とともに活性化にもつながるはずです。
学習指導の充実	・探究コースには、探究コースとしての特徴ある新たな教育課程の策定を望みます。 ・中学生対象の公開授業は、できるだけ生徒が前面に出て運営を行い、寒河江高校の魅力をアピールしてほしい。 ・令和 8 年度山形県公立高等学校入学者選抜「前期（特色）選抜」について、集団討論の場合、受検生の特徴が多様であり（仕切り役、最後のまとめ役、協調型等）、判定に困難が予想されるのではないかと。「省察する力」と「働きかける力」という表現は、その内容が分かりにくく、受検生としては対策を立てにくいのではないかと。 ・図書館等の利用推進ということで、読書件数を KPI としているが、インターネットを通じたデジタル書籍も読書件数として認めてはいかがか。
生徒指導の充実	・さらに地域との連携を深めるために、生徒達の活動を中学生と連携してできることを模索してはどうだろうか。中学校の生徒会行事とのコラボ等。 ・「寒高カフェ」について、寒河江市内にもカフェを営む人がいるので、市内人材の活用も検討していただきたい。寒河江市商工会青年部には市活性化の機運がある。 ・「生徒会で制服見直し（含 LGBTQ 対応）の必要性に係るアンケートを実施」に関して、生徒の熱意が素晴らしい。「LGBTQ 対応」については大学でも、学生の実態把握に努めている。 ・「先生への相談が少ない」というアンケートの回答に関して、カウンセラーとの距離感があった方が良い可能性もある。寒高職員の責任というより、構造上の原因がありそう。「寒高カフェ」での外部人材活用は有効であろう。 ・スマートフォンの適正使用について指導されていますが、学習に役立つ使用方法やアプリケーションの紹介も検討してはいかがか。 ・最近のいじめは、表面化しにくく、指導する側も見つけにくいと思われるので、公益通報制度のような、いじめ関連情報が入りやすい体制づくりが必要だと思います

進路指導の充実	・入試制度の変化に対応する体制づくりは大変だと思いますが、外からは進路状況が一番見えるところなので、頑張ってください。 ・将来的に就職することを見据えて、進学先を選べるように、なるべく多種の就場情報が提供できると良いと思います。
一人ひとりが輝く、地域に根差した学校づくりの推進	・ますます探究活動と入試との関りが深くなっていくと思いますので、進路指導との連携がさらに重要になっていくと思います。 ・探究型の授業では、課題解決に向けた対策の検討を通じて、幅広い視野で考えることができる人材育成が、将来的に求められると思います。一つの答えよりも、幾つかの選択肢を並行して把握できるための授業が可能か検討してはいかが。